

このたびは、『新版 医療情報 第 2 版 医療情報システム編』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。

読者の皆様には謹んでお詫び申し上げます。

2014 年 9 月 11 日
株式会社篠原出版新社

【新版 医療情報 第 2 版 医療情報システム編（第 1 版第 1 刷～第 1 版第 3 刷）】

誤 正

◆p. 39 1.6.1 背景 左段、上から 5 行目

情報処理の**課程**は → 情報処理の**過程**は

◆p. 130 (2)手術に関する業務の流れと対応するシステム 左段、上から 11～22 行目

また、手術には多くのスタッフが関与し、たくさんの器材や材料、薬剤を使用するため、病院情報システムの多くのサブシステムとも関連を持つ。具体的には、先に挙げたような手術に直接関連するシステム以外にも物流管理システム、薬剤システム、輸血システム、病理システム、放射線検査システム、医事会計システムなどは、いずれも手術と密接な関連がある。すなわち、手術とは外来や病棟と同様に、病院情報システムの多くのサブシステムがポータル的に集約する場面の一つであることを理解すべきである。

→ **削除** [(2)項 前段と文章が重複]

◆p. 138 右段、(3)入院中の管理 上から 2 行目

患者**指名** → 患者**氏名**